

科目名	人体構造機能学 I (神経系)	担当教員	鈴木 大輔 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-----------------	------	---------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻 作業療法学専攻	専門基礎科目	必修	1年次	前期	2単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR13AC	②					

科目概要	人体の構造（解剖）と機能（生理）を関連付けること。脳と脳から分岐する脳神経系について構造と機能を学習する。また神経組織を構成する細胞間の連絡、神経細胞およびグリア細胞がどのように機能するかを学習する。
学習目標	末梢神経系および中枢神経系の構造と働きを理解する。

回	項目	主な学習内容	学習目標	実務経験 教員担当 項目
1	I：末梢神経	(1) 脳神経：I-IV	脳神経の名称と働きを覚える。	
2	I：末梢神経	(2) 脳神経：V-VIII	脳神経の名称と働きを覚える。	
3	I：末梢神経	(3) 脳神経：IX-XII	脳神経の名称と働きを覚える。	
4	I：末梢神経	(1) 脊髄神経：一般構造、頸神経叢	脊髄神経の構成および一般的名称を覚える。 頸部を支配する神経の働きを覚える。	
5	I：末梢神経	(2) 脊髄神経：腕神経叢、肋間神経	上肢帯・上肢を支配する神経の働きを覚える。 体幹を支配する神経の働きを覚える。	
6	I：末梢神経	(3) 脊髄神経：腰神経叢、仙骨神経叢	下肢帯・下肢を支配する神経の働きを覚える。	
7	I：末梢神経	(4) 脊髄神経： dermatome、自律神経系	dermatomeを理解する。 自律神経の働きを理解する。	
8	II：中枢神経	(1) 総論：脳周囲の構造	脳の一般的理解 脳脊髄液の働きを覚える。 血液脳関門の働きを覚える。	
9	II：中枢神経	(2) 総論：脳血管	脳血管の名称と走行を覚える。 クモ膜下出血について理解する。 脳内出血の好発部位を覚える。	
10	II：中枢神経	(1) 各論：脳幹	脳幹の構造と働きを理解する。	
11	II：中枢神経	(2) 各論：間脳	間脳の構造と働きを理解する。	
12	II：中枢神経	(3) 各論：小脳	小脳の構造と働きを理解する。 関連疾患を学ぶ。	
13	II：中枢神経	(4) 各論：大脳基底核	大脳基底核の構造と働きを理解する。 関連疾患を学ぶ。	
14	II：中枢神経	(5) 大脳皮質の一般的構造	大脳皮質の構造を理解する。 ブロードマンの脳地図を覚える。	

15	II：中枢神経	(6) 脳の働きについてのまとめ	脳の働きをまとめる。 脳の機能やつながりを学ぶ。	
<b>評価方法</b>		筆記試験（100%）		
<b>課題に対するフィードバック</b>		<p>ここでの課題は、「授業内容の理解」とします。 それに対して①-④のフィードバックを行います</p> <p>① 授業後の確認テスト ② 次の授業前の簡単な解説（出来が悪い確認テストの問題に対して） ③ 個人的な対応（質問に対する回答や解説など） ④ 期末テスト</p>		
<b>教科図書</b>		F.H.マティーニ、他・著『カラー人体解剖学 構造と機能：マイクロからマクロまで』西村書店、2003年		
<b>参考図書</b>		なし		
<b>学習の準備</b>		予習はしなくてもいいですが、復習は必ず行って下さい 講義の理解できた箇所、理解が不十分である箇所を明確にしておき、不十分である箇所は次の講義で質問できるように準備をする(90分)		
<b>オフィスアワー</b>		月曜日 13時-17時半、水曜日 13時-17時半 その他在室時はいつでも可		
<b>担当教員欄に※印を附した教員の 実務経験</b>				